



草津市立草津小学校 学校だより

—学校教育目標—

確かな学力を身につけた

心豊かでたくましい 子どもの育成

# なでしこ



令和5年(2023年)4月28日

No.4

## 出会いの春に花開く「なでしこの花」



本校は市の中心部に位置し、開発が進んでいますが、かつては田んぼや池に囲まれ、ナデシコなどの花も多くみられました。昔は校内でも咲いていたようですが、平成27年度以前は、実物がなく当時の子どもたちから「校章になっているナデシコって何?」と、質問を受けることもあったそうです。そこで平成28年度から、校庭に放置されていた長さ約40メートルの花壇に注目。これをナデシコの花でいっぱいにして、新たな学校の宝にしようというプロジェクトがスタートしました。

ナデシコは土壌の状態の良い場所でしかきれいに咲かず、栽培は難しい植物です。平成29年度は開花が一部しか確認できなかったそうです。そこで、近くの湖南農業高校に協力を依頼し、土おこしや種まきを行うなどして花壇をリニューアル。地域の皆さんにも、肥料をまいてもらうなど準備を進め、ようやく1000株以上の種をまくことができたそうです。

草津小に「なでしこガーデン」ができて、8年目。今年度も、約1000本のナデシコが赤やピンクなど色とりどりの花をつけました。学校だよりを「なでしこ」と名付け、総合的な学習の時間を「なでしこタイム」とよぶなど、すっかりナデシコが子どもたちにとって、身近に感じられるようになりました。

「草津学区ひと・まちいきいき協議会」の支援を受けて買っていただいた種を、湖南農業高校の皆さんが、苗まで育ててくださいました。その苗を3月に卒業生(現中学1年生)が、花壇に植えてくれました。湖南農業高校の皆さんや環境ボランティアの皆さんが、牛糞を入れるなど、土壌改良も行ってくださいました。3月には、ナデシコの苗を地域の方々に配り、学区全体にナデシコの花を咲かせる取組も行っています。「校章ナデシコ」が子どもたちの誇りと共に、地域に根づいてきました。「なでしこガーデン」の横を通る子どもたちは、ナデシコの花を観察しながら、「小さくて、かわいく色がきれいで素敵。」と話しています。

いろいろな方々の協力で咲いているナデシコ。これからも大事に育てていきます。



子どもたちの様子をお知らせする「草津小ホームページ」毎日更新中!ぜひアクセスしてください。



## 『子どもの心に 寄り添って』



## 『子どもと大人が話をするとき』

新学期が始まり3週間。子どもが学校生活での学習、行事、友だち関係などで、うまくいかないことや不安なことがあるとき、私たち大人に愚痴を言ったり相談したりすることが、お家でもあるのではないのでしょうか。その時、私たち大人はどんなふうに話を聞いてあげるといいのでしょうか？

子どもに「何とか乗り越えてほしい、頑張ってもらいたい。」という思いと、大人として「何とかサポートしたい、応援したい。」という思いが混じって、相談してきた子どもに、どうしたらよいかアドバイスしたり、大人自身が昔、同じような体験をして、自らがどのようにしてうまくやったか、あるいは、努力したか、“成功体験談”を話して聞かせたりすることがあります。

ところが、大人の話聞いて、ますます気持ちが落ち込んでいく子どもがいます。「せっかく大人が良いアドバイスをしているのになぜでしょう？」このとき、子どもは解決策を求めているのではなく、まず、「自分の話に耳を傾けてくれる人」「自分の気持ちを分かってくれる人」、つまり、「共感してくれる人」を求めていることが多いのです。「私のこと、わかってほしい…」。まずは、そこです。

子どもたちには、次のような共感する言葉をかけてあげることが大切だと言われています。

「それはつらかったね。」「悲しい思いをしたね。」「私も同じような経験をしたよ。」

「私もできなかったよ。」など。ここで、もし子どもが「そのときはどうしたの？」

「どうしたらいいの？」などと、大人に尋ねてきたら、そこで大人自身の経験も交えて話してあげましょう。(2人の子どもの親の私も、うまく言ってやれない失敗を重ねていますが。)

愚痴を言ったり相談したりするなど、自分の気持ちを言葉に表すことは、自分のもやもやした気持ちを自分で整理整頓することにつながります。つまり、実は自ら解決に向けて動き始めているのです(たぶん、本人は意識してないと思いますが…)。そこに「共感」という応援が加われば、とても心強く、前向きな気持ちになるためのエネルギーになりますね。



## 潜入!草津小リアルスコープ

## 『なかよしプールの碑に込められた思い』

体育館玄関とプールの入り口付近に、右の写真のような碑があります。この碑には、次のような言葉が刻まれています。

『安心して泳げるプールがほしい。琵琶湖での悲しい出来事が二度と起こらないようにと。そんな願いがたかまって当時のPTAの人達の愛情の泉が「なかよしプール」です。』

あれから三十年 今、新しい場所に二代目「なかよしプール」が完成しました。子どもたちの安全とたくましい成長を願う大ぜいの人の祈りが このプールにも受け継がれています。

昭和63年7月 草津市立草津小学校 PTA

これまで、この碑の周りには雑草などが生えていましたが、このたび周りを整備して、「芝桜」の苗を植えました。きっと来年度には苗がどんどん広がって、美しい芝桜が碑のまわりを囲むことになると期待をしています。今年度も、当時の皆さんの思いを大切に、安全に水泳学習ができるように取り組んでいきます。



## 『自転車ヘルメット着用 努力義務化について』

令和5年4月1日から、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。頭部を保護するヘルメットを着用することの重要性が明らかになっています。

ご家庭において、ヘルメットの着用の努力義務化について話題にいただき、改めて「命の大切さ」を再認識する機会にしていただければ幸いです。

保護者の皆様の適切なご判断のもと、対応いただきますようお願いいたします。



子どもたちの様子をお知らせする「草津小ホームページ」毎日更新中!ぜひアクセスしてください。



## 草津市 LINE

イベントや市政情報、災害時の緊急情報など、市からのお知らせを配信しています。ぜひ「友だち登録」を!



問 草津市広報課 ☎561-2327、FAX561-2483